



## 赤滝

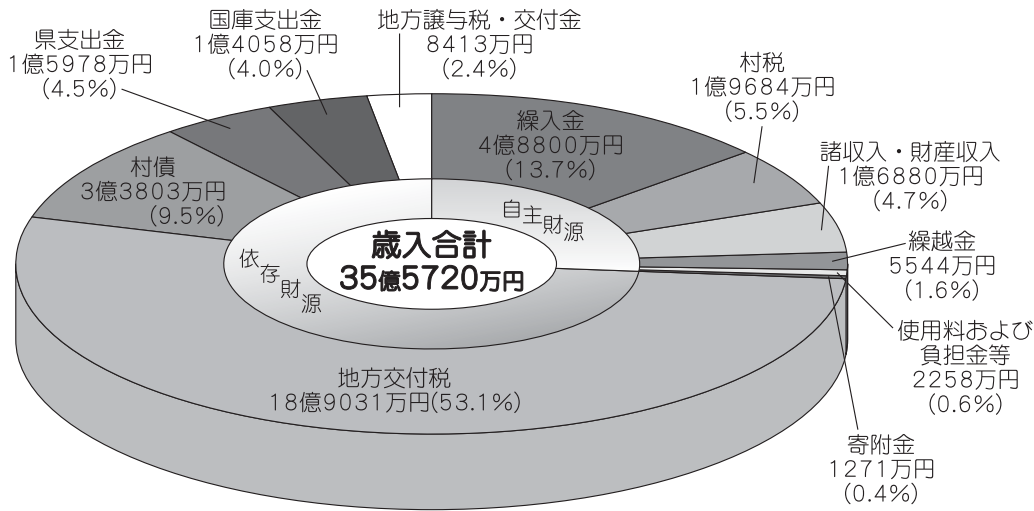
ダムが完成すると、赤滝はダム湖の中へ。  
今は紅葉がちょうど見頃となっています。  
この機会に訪れてみませんか。

議会ブログはこちら♪



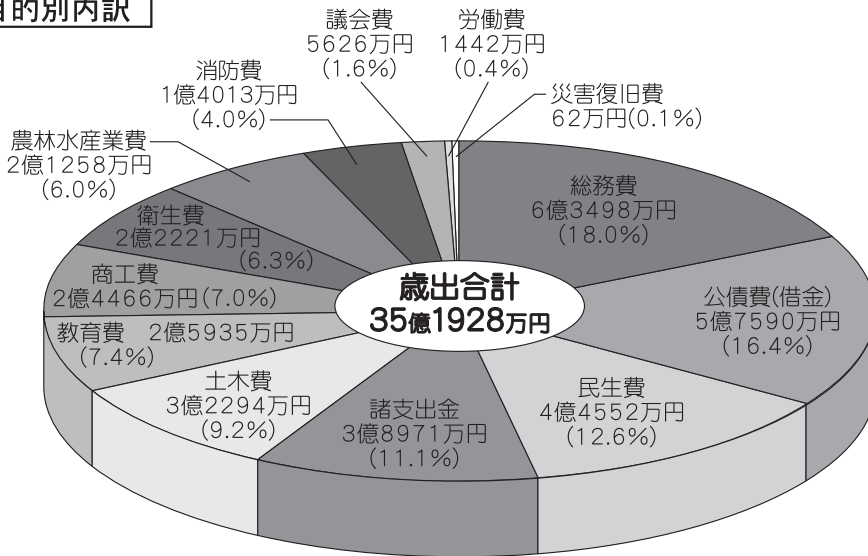
# 令和元年度へ繰越3792万円

## 一般会計歳入 35億5720万円



## 一般会計歳出 35億1928万円

### 目的別内訳



## 各会計の決算額

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差し引き	収入未済額	
一般会計	35億5720万円	35億1928万円	3792万円	1億6993万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	2億5796万円	2億5726万円	70万円	714万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	8925万円	8528万円	397万円	
	後期高齢者医療	2734万円	2565万円	168万円	-24万円
	介護保険(保険事業勘定)	3億6718万円	3億6714万円	4万円	35万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	4548万円	4548万円		
	簡易水道事業	3億4635万円	3億4522万円	114万円	119万円
	下水道事業	9470万円	9349万円	121万円	152万円
	小計	12億2826万円	12億1952万円	874万円	996万円
合計	47億8546万円	47億3880万円	4666万円	1億7988万円	

※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

平成30年度各会計の決算を認定！

9月定例会議

平成30年度

# 一般会計のなかみ

1年間で、**村民1人あたり**  
このように使われました

総務費  
24.93万円



公債費(借金)  
22.61万円



民生費  
17.49万円



土木費  
12.68万円



農林水産業費  
8.35万円



教育費  
10.18万円



商工費  
9.61万円



消防費  
5.50万円



衛生費  
8.72万円



議会費  
2.21万円



災害復旧費  
0.02万円

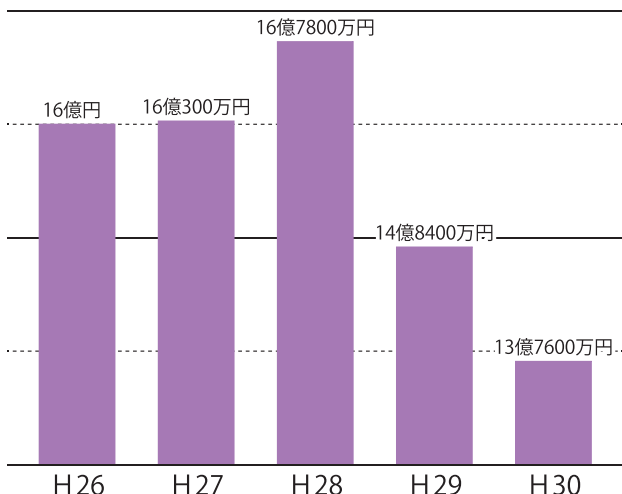


労働費・諸支出金(貯金)  
15.87万円

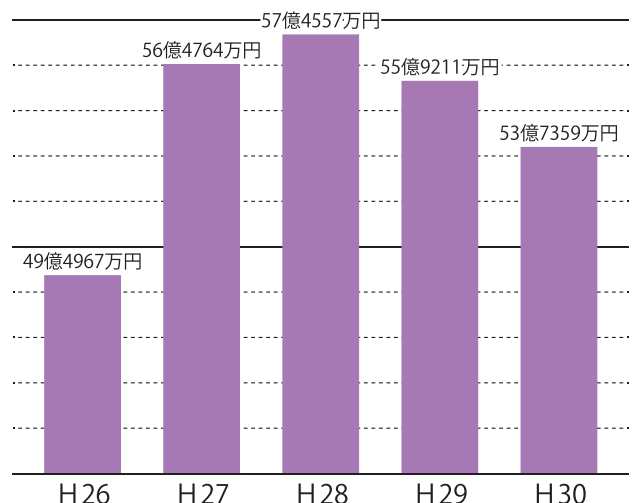


村民1人あたり **約138万円** (H31.3月末日の人口2547人)  
※特別会計を含めると約186万円使いました

財政調整基金(貯金)の推移



地方債(借金)借入残高の推移



# 平成30年度決算審査 有効に使われているか！

## 歳入

**村税滞納繰越額減少について**

**質問** 額を減らすためにどんな対策をしているか。

**答弁** 継続的な納税相談、訪問等を行っている。県税事務所と共同での催告文書の通知も行っている。

**未納相談件数は**

**質問** 未納の方への訪問件数は何件か。

**答弁** 電話や文書の反応がなかった世帯に訪問している。昨年とは2世帯に対して計6回訪問している。

**寄附金の使い道は**

**質問** ふるさと納税で寄附した方から使い道に関する問い合わせはあるのか。

**答弁** 実際に寄附した方からの問い合わせはない。今年度は、使途に沿って6事業に充当させる予定。

**滞納処分の件数は**

**質問** 差し押さえ等の行為はあったのか。件数は。

**答弁** 差し押さえの該当はない。

## 歳出

**【総務費】**

**応援団事業**

**質問** 記念品引換券を今後廃止したが、会員数の減少等の影響はあるか。

**答弁** 施設利用の充実に集中した結果、会員数は増加している。

**高校生バス補助金事業**

**質問** 高校生全体からすると何パーセントが利用しているか。

**答弁** 全体の67パーセントが利用している。

**移住定住補助金事業**

**質問** 移住定住奨励金や、ふるさと定住奨励金を貰って、すぐに村から離れる方もいるのでは。

**答弁** 移住定住奨励金に関しては、3年間村に住んでいないと返還が発生する。ふるさと定住奨励金は、前年度支払った奨学金の返還に対する助成であり、1年以上住んでいないと対象にならない。

**【衛生費】**

**生ごみ堆肥化事業**

**質問** 生ごみ堆肥化の協力世帯は村全体で増えているか。どんどん増えた場合、施設で対応は可能か。

**答弁** 現在は村全体に対して約4分の1の世帯にご協力いただいている。開始当初からすれば増えては来ているが、毎年増えている訳ではなく、

横ばいの状態。急激に増えた場合は対応は困難ではあるが、現状では不足していることはない。このまま事業を継続していきたい。

**【選挙費】**

**委託料金額の違いは**

**質問** 選挙費の看板作成委託料が、村と県で金額が違つのはなぜか。

**答弁** 県議会選挙が年度を跨いでいるため前年度と今年度で分かれているため。

**【農林水産業費】**

**水路改修工事**

**質問** 大柳沢堰、長平地区農業用水路の水路工事の今後の見通しは。

**答弁** 既に発注済み。長平地区については、地区で水を使わなくなる次期を目指しこの次期になった。降雪も心配されるため、その前に完成させたい。

大柳地区については2ヶ年計画で、昨年測量し今年から改修を進めている。

**平良カブ栽培面積は**

**質問** 平良カブの栽培面積は。一般と振興会と合わせた面積は把握しているのか。

**答弁** 昨年の作付面積は、平良部落全体で1町歩程度。そのうち振興会の面積が4反歩となっている。



平良カブ収穫の様子

【循環拠点施設の費用対効果は】

【質問】 施設運営の経費に人件費を加算した場合、収入も少なく、維持していくのには大変ではないか。

【答弁】 去年は火災もあり、通常半分の稼働実績だった。管理費が多額ではあるが、色々な波及効果が出るように検討していきたい。今後に期待していただきたい。

【土木費】

【除雪オペレータに関して】

【質問】 臨時職員賃金と除雪オペレータ給与負担金があるが、どちらが何名ずつなのか。雇用期間は。

【答弁】 直営オペレータが6名、村内企業からの出向扱いが4名。雇用期間は12月1日から3月31日までとなっている。

【山岳道路の除雪に関して】

【質問】 春先の山岳道路をもっと早く整備出来ないのか。

【答弁】 今まで以上にパトロールを強化し、対策していきたい。

【商工費】

【新規起業育成支援事業】

【質問】 イワナの里とSSKに支援されているが、今の企業内容はどのような状態か。

【答弁】 イワナの里は、イワナ、ニジマスの養殖、販売、釣り堀の運営をされている。SSKは車の長期、短期の貸し出しを随時進めている。



イワナの里

【消防費】

【危険空き家解体事業】

【質問】 軒数は2軒で間違いないか。今年度の申請は出てきているのか。

【答弁】 30年度は2軒で間違いない。今年度は既に補助金の申請を受けた方やこちらから打診している方もいる。

監査委員の決算審査意見

【審査結果】

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

【審査意見】

実質収支は全会計とも黒字決算となっているが、実質単年度収支でみると一般会計で1億249万1千円の赤字に転じ、特別会計においては国民健康保険（直営診療施設勘定）と介護保険（介護サービス事業勘定）の2会計を除いた会計が赤字となっている。赤字解消に向け一般会計と特別会計が一体となり適正な運営が望まれる。

を定め多種多様な取組みを実施しているが、事業の目的、趣旨を十分に説明したうえで交付をするとともに、効果の検証も行い、見直しを行うことも必要である。

少子高齢化による人口減少に伴い、税收や普通交付税の減少が見込まれ、福祉需要の増大や公共施設改修事業など財政需要の増大も見込まれ、今後も財源不足が見込まれる状況である。中長期的な財政計画により、限られた財源の効率的な配分を行い、職員が一丸となって魅力ある村づくりに邁進していただきたい。



歳入においては、村税等の不納欠損処分が行われているほか、収入未済額も多額となっている。税等の公平負担の平等、受益者負担の原則からも収入未済の減少に努力していただきたい。

監査委員

吉田 正  
佐々木 修



# 9月定例会議

9月定例会議は、3日から18日までの16日間の審議期間で開催されました。報告2件、人事案件4件、条例案8件、補正予算7件、決算案件8件、議決案4件の合計33件を審議、議員発議を含む意見書など3件をすべて全会一致で原案のとおり可決しました。

2日目には一般質問が行われ、5議員が登壇し、村政をただしました。

## 条例

### ◆主な改正

- 消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について
  - ・消費税の増税に伴う、使用料等の引上げに係る規程の整備
- 東成瀬村立保育所給食費に関する条例について
  - ・保育料の無償化に伴う、条例の整備

### 令和元年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	
○村税	
個人市民税	559万円
固定資産税	652万円
○地方交付税	
普通交付税増	3,586万円
○国庫支出金	
子ども・子育て支援事業費補助金	139万円
○繰越金	
前年度繰越金	647万円
○村債	
臨時財政対策債	▲689万円
歳出	
○総務費	
総合戦略検証委員等視察	71万円
村制130周年記念事業	78万円
コンビニ交付システム導入負担金	475万円
○農林水産業費	
イノシシ捕獲奨励金	10万円
○商工費	
修繕費(栗駒山荘雪害分)	210万円
本工事費追加(プランLPガス蒸発器更新)	140万円
○土木費	
消耗品(グレーダタイヤ購入)	82万円
修繕費(除雪シーズン対応等)	175万円
○消防費	
費用弁償追加(消防操法大会)	65万円
○教育費	
スノーボード大会開催助成金	200万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金	2,500万円

## 指定管理

- 畜産施設・東成瀬村公共牧場
  - 団体名：赤べこ仙人ファーム
  - 代表者：菅原 一範
  - 期 間：令和元年11月1日～令和7年3月31日

## 人事

### ○教育長



鶴 飼 孝  
 (横手市増田町) ※再任  
 任期：令和元年10月17日から  
 令和4年10月16日まで

### ○固定資産評価審査委員

- 菅 野 由美子 (滝ノ沢) ※再任
- 谷 藤 博 克 (岩井川) ※再任
- 高 橋 義 明 (谷 地) ※再任

任期：令和元年10月1日から令和4年9月30日まで

# 質疑白熱

令和元年度一般会計補正予算(第3号)の歳出に対する主な質疑の内容

**村制施行130周年記念事業について**

**質問** 業務委託費として70万円計上されているが、具体的な内容は。

**答弁** 10月26日の産業祭終了後に記念式典、記念祝賀会を計画している。PR大使のお願い、エフエム放送局との災害協定、今年加盟10周年の「日本でも最も美しい村」連合も合わせて、加盟村でもある福島県大玉村出身のギタリストをお呼びする予定。

**総合戦略検証委員視察について**

**質問** 視察の旅費が計上されているが、村からは何名出席するのか。

**答弁** 小さな拠点づくりについて先進地の京都府南丹市美山町を視察する予定で、委員8名を予定している。

**町イチ村イチ2019について**

**質問** イベントには何名の参加を予定しているのか。

**答弁** 参加人数は7名の予定。

**戸籍住民台帳費について**

**質問** コンビニ交付システム導入負担金の初期費用が計上されているが、全体でどれくらいになるのか。

**答弁** 今回は導入のための予算措置で特別交付税の対象になる。来年度10月から交付が始まるので電算協同組合が1525万円。使用料保守として215万円の予算要求になる予定。

**修繕料について**

**質問** 商工費の修繕料で210万円計上してあるが、なぜ今か。もっと早く計上出来なかったのか。

**答弁** 春に雪害による栗駒山荘の修繕が例年より多く確認出来たが、開業を優先させるために雪害箇所はゴールデンウィーク明けに確認と金額を計算した6月補正までには間に合わなかった。

**質問** 雪害と説明があつたが、具体的にどのような修繕か。

**答弁** トップガラスの破損修理、オイルポンプの破損とピット内の油流出の処理、浄化槽のマンホール蓋枠の修繕である。



**農業委員会普通旅費の追加について**

**質問** 今補正するのは何か特別な理由があつたのか。

**答弁** 農業委員会が任意で、11月に視察研修が行われることになり、それに同行する職員の旅費1名分を追加で計上した。

**消防費について**

**質問** 消火栓ホース収納ボックス撤去8箇所とあるが、今撤去する理由は。

**答弁** 平成25年の消防団幹部会で、昭和時代に作った消火栓ホース収納ボックスを順次撤去することになっている。関係工事の際には撤去していたので、今回は残っている8箇所の撤去分となっている。

**保健体育費について**

**質問** スノーボード大会開催助成金200万円と非常に大きい金額だが、どこに助成するものか。

**答弁** 平成30年度と同様で、この後実行委員会を立ち上げてそちらに助成するもの。



スノーボード大会の様子

高橋 清 一 議員



## 桶清水線の道路整備を

村長 幅員を確保するのが難しい

**質問** 肴沢地区は土石流危険渓流氾濫域であり、村道桶清水は国道342号が災害で通行止めになった場合その代替道路となる。今後の防災対策として、大型車も通行できるような道路整備の計画は。

**村長** 現在の村道も、代替道路としての機能を持っており一般車両は通行可能である。しかし、大型車は通行できない状況である。地理的要件もあり整備は難しいが、今後の対応は色々考えていく必要があると思う。

### 林道一ノ沢線の災害復旧計画は

**質問** 数年前から林道一ノ沢線が、雪崩や土砂崩れなどで途中から通行止めの状況が続いている。長年放置すると、道路が道路としての用をなさなくなる。災害復旧計画等はあるのか。森林環境譲与税の有効利用の検討をすべき。

**村長** 秋田県に対し治山事業等有利な補助事業での改修を含め方法を協議している。し

かし、現状では厳しい。引き続き県とも協議を進めていく。現時点では、森林環境譲与税の使途は林道台帳の整備を中心に進めている。

### 獣類対策は

**質問** 今まで獣類対策と言えば、クマ対策であったが、2〜3年前から湯沢市などでイノシシ被害も報告され村に設

置された監視カメラでも目撃されている。獣類による被害は私たちの生活に甚大な恐怖と影響を及ぼしており、対策を講じる必要がある。狩猟者の減少・高齢化に向けた育成対策は。

**村長** 狩猟者の高齢化は頭の痛い問題である。村としては取り得る対策はしっかりと取っているが、なかなか増加には結びついていない。

### 特にイノシシ対策は

**質問** 村と住民、猟友会は獣類対策について共通認識を持ち、被害対策にあたるべきだ。特にイノシシについては、我々もこれまで対峙したことがなく、どのようにすればいいのか分からない。パンフレットを作るなど対策をするべきでは。

**村長** 秋田県でもイノシシ対策は、相当具体的な対策を講じているので村としても連携を取り対応にあたっていく。今後具体化にあたり、県などとも連携を取り勉強していく。



通行止めの状態が続く林道一ノ沢線（田子内）



伊勢谷 勝 美 議員



## リゾートの意識改革は

村長 具体化するように進めている



紅葉シーズンの栗駒山荘

**村長** 会社業務の中ではそれぞれのセクションがあり、協力態勢をしっかりと取るようにすることを現在実施している。なかなかスムーズにいかないのが現状ではあるが、厳しい状態にあることを会社全体で確認しながらこの意識改革を更に具体化するように進めている。

**質問** 2年連続の赤字決算が報告されている。赤字経営が改善されない現状に経営陣の責任は重いと思う。村長の考えは。

**村長** 経営改善計画は大変厳しい状況にあると申し上げざるを得ない状況にある。社長としての責任はもちろんある。漫然として構えているのではなく、常に気を配りながら対策を取るようにしている。これからも社長としての役割を果たしていきたいと思う。

### 行政運営の見直しとは

**質問** 平成30年度の決算報告について、厳しい結果となっ

た。行政報告で更なる見直しが必要とのことだが、具体的にどのようなことか。

**村長** このような財政指数はしばらく続くものと想定している。今後は村の事業費の見直しを集中的に行い、経費の削減を図っていかねばならない。しっかりと乗り越えていけるように、最大の努力をしていきたい。

### 外国人の受入れは

**質問** あらゆる分野で「人手不足」の問題が顕著に現れている。労働力確保は緊急の課題と考える。村の現状は。

**村長** 他県では外国人の雇用に助成制度を取り入れたりしているが、秋田県ではまだそこまで至っていない。単価や勤務先場所の問題もあり、思うようにいかないのも現状。今後も引き続き人材確保に努力してまいりたい。

**質問** 秋田栗駒リゾート株式会社が深刻な人手不足のため、利用したいお客様がいるのにお客様を断っているとの報告を受け、大変驚いた。観光施設においては何よりも優先すべきはお客様に来て貰うことだと思ふ。会社の意識改革はどのように行われ、どのような結果が出ているのか。

佐々木 正 利 議員



## どうして宿泊制限したのか

村長 サービスが行き届かなくなった

**質問** 村長の行政報告で、秋田栗駒リゾートは二年連続の赤字決算との報告を受けた。栗駒山荘は、宿泊制限をして、部屋の稼働率が約半分とのこととで、赤字解消になるとは思えない。どのような判断なのか。

**村長** 5月からの本格的な営業に向けて、担当の兼務で対応するというところで、栗駒山荘の勤務体制はスタートした。しかしながら、社員が退職したり、派遣会社からの人材確保が進まなかったりして、お客様に対するサービスが十分にいき届かないことが出てきたので、苦渋の選択として、今シーズンから宿泊制限をした。

### 行政側の認識は

**質問** 現在、第三セクターの経営状況は、かなり厳しい状況に置かれていると思うが、行政側はどのような認識があるのか。

**村長** 大変厳しい状況に置かれている。人手を何とか確保しながら、会社全体の中から、忙しい栗駒山荘の紅葉シーズンに向けた対応策を具体化していくよう努力したい。一つ一つ出来ることをしっかりとやっていきたい。

### 芝生が生えなくなったのは

**質問** 指定管理しているパークゴルフ場の栗駒、仙人、林間コースのグリーンの芝生は、なぜ生えなくなったのか。来年度以降、芝生が生える保証はあるのか。

**村長** 生育不良については、3点ほど考えられる。カントリーパークの立地条件、標高が高いということ。暑さを嫌う芝草が今年の高温続きで、栗駒、仙人、林間コースのグリーンがダメージを受けたこと。グリーンにドライスポットと呼ばれる現象が発生したこと。今後は、サブグリーン



グリーンのドライスポット

を作ってグリーンの芝生を養生してから使っていたかどうか、色んな手立てを考えてみたい。

佐々木 悦 男 議員



## リゾート経営は危機的状況では

### 村長 大変憂慮すべき事態

**質問** 平成30年度実績報告では、人員不足により思うような営業ができない。人材派遣、業務委託による費用で赤字。新年度は赤字を解消し黒字にする計画が説明されたが、人手不足が解消されないまま、人材派遣、コンサル、業務委託に頼り、栗駒山荘の客室稼働率を半分にしている。計画倒れは目に見えており、危機的状況にあるのではないか。

**村長** 大変憂慮すべき事態と認識しており、食事提供のあり方、サービスの仕方をお客様に理解していただき稼働率を上げる具体化と、村職員に対しても協力をお願いを会議で話している。

**質問** 栗駒リゾートの施設は村の施設であり、毎年多額の修繕費、運営費が掛かっている。第三セクターであり、利用者からすれば無くてはならない施設で、応援していかなければならぬこととはわかる。他の市町村では、公共施設の処分等が進んでいるが、そついう検討はされているの

か。今、本当に頑張つて建て直しを図らなければならない時期と思うが。

**村長** 地域の活性化、雇用、村内生産物の消費などの効果もあり、これからも続けていかなければならない事業と考えている。村にとって類似施設がたくさんあるわけではなく、今の状態を好転させ、維持していく必要があり、やめるとか、経営を民間に委託する考えは無い。

**質問** 村財政の厳しい中、事業、施設の費用対効果の検証をしているのか。

**村長** 年間維持するための必要最低限の指定管理料を積算、算定し、厳しい予算査定で検討、検証している。

**質問** パークゴルフ場のバラ園のバラを村民に譲って廃止し、管理の行き届かないパークゴルフコースの芝管理を徹底してもらいたい。

**村長** パークゴルフ場とバラ園はカントリーパーク整備事業として指定を受け、国、県

から助成を受け実施している事業です。バラ管理の人も早朝や皆さんが帰った後に整備に手伝っており、プレーを

している間は、バラの管理に当たるといふ役割をしっかりと担ってもらっている。



カントリーパークのバラ園

佐々木 修 議員



## 高齢者の移動など今後の計画は

村長 路線バスが無い地区の準備時期である

**質問** 現在村では外出支援サービスを実施しているが、今後の人口減少、高齢化などに伴い、高齢者の移動手段の充実、また路線バス、スクールバスなど、村の総合的な交通計画を財政削減効果と合わせ今後準備が必要では。

**村長** 現在の外出支援サービスの充実については、実態調査を進める。

山間地の交通は大きな課題である。村の有償バス事業や無償輸送サービスには、国の財政支援がある中で、現在は民間の輸送機関利用が第一であるが、路線バスの運行が無い地区の対応などは準備に入る時期であると考ええる。有償か無償か、安全に対しての責任、道路運送法など難しい課題の中、他の事例も参考に勉強に入る。

**再質問** 特別豪雪地帯である東成瀬は、冬季間、圧雪路、凍結路、吹雪と高齢者の運転に対しては特に負担が大きい。今後の人口減少を前提に、

村を維持する為、高齢者や住民の利便性確保と同時に、財政上も交通体系維持費削減を考えていくべきではないか。

**村長** 現段階では、路線バス、外出支援サービスは各所からの支援のもと運営している。新しく交通体系を考えるには財政負担も出る為、削減に向け単純に比較できなく、実現には難しい課題もある。

**再質問** 冬季間などの条件不利を考えれば、交通対策は人口減少対策にもなるのではないか。

**村長** 趣旨は理解できるが、具体策についてはいろいろな事例や、各方面から指導を頂きながら、計画できるものがあれば計画していく必要があると考ええる。



現在運行している診療所通院バス

## 9月定例会議議決事項名

秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
教育委員会教育長の選任について
固定資産評価審査委員会委員の選任について
固定資産評価審査委員会委員の選任について
固定資産評価審査委員会委員の選任について
印鑑条例の一部を改正する条例について
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例について
消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について
体育施設設置条例の一部を改正する条例について
簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について
立保育所給食費に関する条例について
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例について
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
湯沢雄勝ふるさと市町村圏基金に係る権利の一部を放棄することについて
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更について
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更に伴う財産処分について
指定管理者の指定について※畜産施設・東成瀬村公共牧場
令和元年度一般会計補正予算（第3号）
令和元年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
令和元年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第2号）
令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
令和元年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）
令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
令和元年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）
平成30年度一般会計歳入歳出決算認定について
平成30年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について
平成30年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定について
平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
平成30年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について
平成30年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について
平成30年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
平成30年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

本会議はどなたでも傍聴できます。  
あなたも議会の傍聴に来てみませんか？  
次回定例会は12月上旬開会の予定！

## 功績を讃えて 旭日単光章受賞

叙勲の伝達式が行われ、谷藤東太郎さん（岩井川）が旭日単光章を受賞されました。

谷藤さんは、長年村議会議員として地方自治へ貢献されたことから、今回の受賞となりました。



雄勝地域振興局長から伝達

## 請願・陳情

9月定例会で3件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果2件を採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

### 採択とした陳情

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について  
（陳情者）秋田県山村・過疎地域振興協議会  
会長 佐々木 哲男
- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情  
（陳情者）連合秋田横手湯沢地域協議会  
議長 齊藤 斉

### 継続審査とした陳情

- 村議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の意見表明を求める陳情  
（陳情者）ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田県民の会  
代表委員 川野辺 英昭

# 議会の動き

## 町村議会議員研修会

7月31日、秋田市で県内町村議会議員を対象にした議員研修会が開催され、本議会から全議員が参加しました。

研修会は、新潟県立大学准教授の田口一博氏と、政治ジャーナリストの泉宏氏による講演会でした。



## 議会全員協議会

8月20日、議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況について報告を受けました。

議員からは、深刻な人手不足による影響や、山荘の施設利用料金アップによる利用者の反応等について質問がありました。



# 委員会活動

## 議会広報研修会

7月31日、秋田市で県内町村議会議員を対象にした議会広報の研修会が開催され、本会議からは議会広報特別委員会の5名が参加しました。

広報コンサルタント芳野政明氏による、「読まれ、伝わる」を演題とした講演が行われました。



▼稲穂が金色に輝く、実りの秋、稲作の作柄はやや良好とのこと。豊作が期待されている。

▼キバナコスモスが黄色く色鮮やかに咲きました。コスモスは、倒れても花を咲かせる強さを持ち、黄色は光、希望、明日をイメージする色で、行き交う人に元気を与えてくれる。

▼我が家の栗の木には、今年も熊棚が設置されていました。キノコなど山に入る方は、熊に注意。

▼朝夕の気温がグッと下がって来ました。インフルエンザや体調管理に気を付けて過ごしましょう。

(副委員長 伊勢谷勝美)

暫時  
きんじ  
休憩  
きゆうけい

# 視察レポート

## ダムを活用した観光の取り組みについて

総務教育民生常任委員会 ・ 産業建設常任委員会

### 青森県西目屋村の概要

西目屋村は、秋田県に隣接した県境に位置し、人口1360人の村で、世界遺産の白神山に抱かれた自然豊かな村であり、村中心部は弘前市から車で30分の距離にあることにより、アクセスしやすい場所である。平成28年完成の「津軽ダム」を活用した観光施策に組み組んでいる地域であり、今年、「日本で最も美しい村」連合に新たに加盟している。



### ダム水源地域活性化の取り組みについて

津軽ダムは、平成3年に着手して平成28年竣工。ダム関係での雇用は余りないが、交付金1900万円、東北電力より水力発電で3845万円の収入がある。

観光の目玉である水陸両用バスは、9000万円の内、過疎債を活用し、7割交付で、3000万円の持ち出しということ。年間運行委託料として民間事業者が4000万円ということ。事業決断には相当なものがあつたと思う。

実際乗車して、天候や運行日数を考えた場合、採算は合わないだろうと思つたが、滞在効果、白神公社の施設利用、宿泊施設利用と相乗効果により客寄せには大いに役立っているということ。

また、ダム工事事務所は電気、設備修理、レイアウトを変えて新しい役場庁舎



として使うということ。財政面で大きく寄与するものと考えられる。

水陸両用バス、道の駅での焙煎コーヒーの大きな施設、ソフトクリームに地産の蜂蜜をかけさせて食べさせるといった一見無謀なアイデアを取り入れており、成功させていることには驚かされた。

観光の拠点となる場所や、運行にかかる経費など、導入にあたってはかなりの検討が必要になると感じた

が、ダムを活用した宣伝手法の一つとしては、大変参考になった。

### 「日本で最も美しい村」連合の取り組みについて

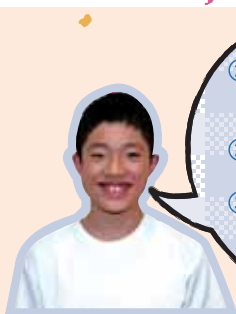
美しい村の取り組みについては、今年認定になったばかりで発表するようなことはないとのことだったが、白神山に抱かれた美しい村で、ガイドさんからの様々な景勝地の説明と、村の指定カラーを使うと屋根のペンキ塗り替えに補助金が出るなど、景観にも配慮していた。



# あなたの声届けたい

村民の皆さんの声を議会から発信していきたいと思います。  
第1回目は、東成瀬中学校のこの3人！

質問① 東成瀬村と言えば？ 質問② 将来の夢は？ 質問③ 議員になったら聞いてみたいことは？



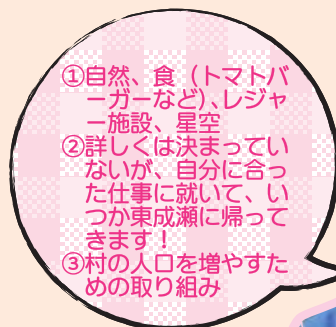
ちひろ  
1年 高橋 馳広さん

- ①村民の皆さんが優しく接してくれるところ
- ②Googleに就職すること
- ③ダム建設状況とダム事業による村の収入について



けんご  
2年 佐々木 絢梧さん

- ①空気が澄んでいて、星空がきれい
- ②得意なことを生かして、モノづくりの仕事に就きたい
- ③村外の人にPRするために、村ではどのような取り組みをしているか



みと  
3年 鈴木 望叶さん

- ①自然、食（トマトバーガーなど）、レジャー施設、星空
- ②詳しくは決まっていないが、自分に合った仕事に就いて、いつか東成瀬に帰ってきます！
- ③村の人口を増やすための取り組み

皆さん、ありがとうございました！！  
夢に向かって頑張ってください。  
応援してます！

## あの質問はその後どうなったの？

平成30年10月子ども議会での千田明議員の一般質問

「学校坂名称の看板等の設置について」

追跡調査しました！



### 質問

「学校坂命名プロジェクト」をスタートし、東中祭で「夢見坂」「希望坂」と名称が決まった中学校までの坂の入り口に、標識や看板を設置してはどうか。

### 回答

除雪、見通し等の問題もあるが、卒業までに設置することを約束する。

### その後どうなったのか…

卒業式前、平成31年3月7日に、看板が設置され、同日に中学校では看板のお披露目会が行われました。  
夢を見つけ、希望を持った子どもたちの登下校を、これからも見守ってくれることでしょう。

